

2021年3月3日

関係各位

会社名 ケアパートナー株式会社

「第15回Qアップトレーニング事例検討発表大会」開催について

ケアパートナー株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：白井孝和）は、「第15回Qアップトレーニング事例検討発表大会」を下記の通り開催しましたので、ご報告致します。

記

1. Qアップトレーニング事例検討発表大会とは

当社では、食事や排泄・入浴等お客様への全てのサービスシーンを日常生活動作の改善を行うトレーニングの場、実践の場と捉え、「Qアップトレーニング」と総称しています。

毎年、各事業所での「Qアップトレーニング」による成果を発表する大会が催されており、事例の社内共有によるケアの質の改善や、スタッフのスキルアップにつなげています。15回目となる今大会は79事業所が参加。予選を通過した6事業所による本選が2020年12月12日（土）に開催されました。本大会はすべてWEB会議形式によって行われ、本選の様子は全事業所に対してオンライン配信されました。



▲ オンライン配信の様子

2. 発表テーマ

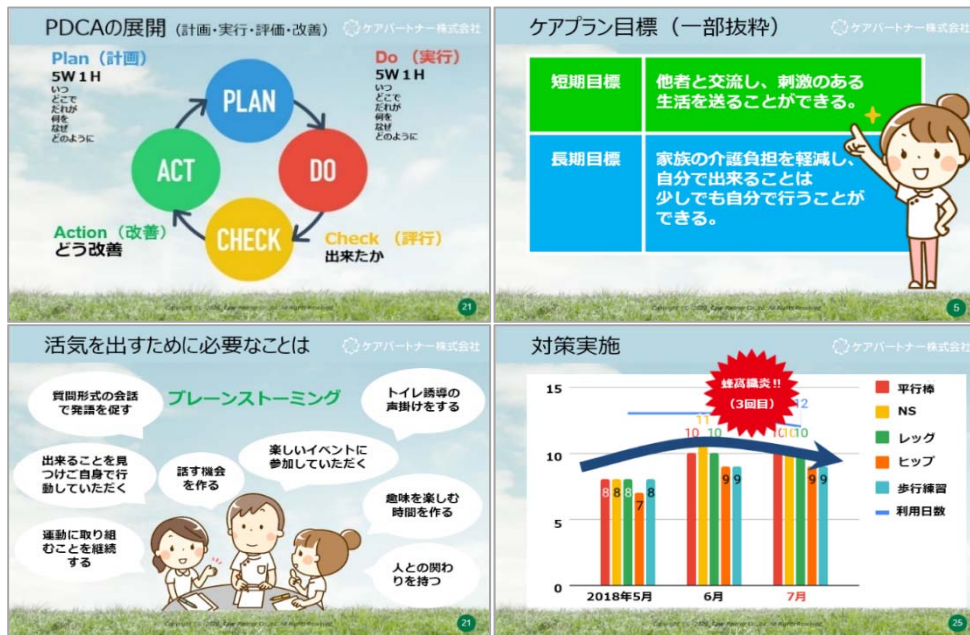
今年のテーマは『相談援助の展開過程』です。各々の症状や状態に対し、お客様と共に目標を決め、計画を立て、様々なアプローチを展開しながら目標に近づいていく事例と定義しました。

各事業所は上記テーマの下、用意されたサブテーマ（※）の中から各自1つ設定し、テーマに沿って改善に取り組みました。

※今年取り組んだサブテーマ

- 1) 認知症・重度者への対応
- 2) 介護事故撲滅の為の取り組み
- 3) たいせつにすること（※当社における行動指針）
- 4) ヒヤリキヤット（当社にて導入しているヒヤリハット音声入力アプリ）を活用した改善事例
- 5) 未利用のお客様への対応
- 6) 複数のお客様を対象とした取り組み
- 7) ※自由設定

▼ プレゼン資料の一部



3. 結果

| | 事業所名 | 発表タイトル |
|------|------------|--------------------|
| 最優秀賞 | ケアパートナーつくば | 「連係ノートで繋がる笑顔」 |
| 優秀賞 | ケアパートナー宇都宮 | 「進行性核上性麻痺の進行を穏やかに」 |

※敢闘賞・・・ケアパートナー守口、ケアパートナー若林、ケアパートナー八尾、ケアパートナー新川崎

4. 講評

■ケアパートナー株式会社 事業推進部・西日本担当 野田誠

「一人ひとりのお客様に真摯に向き合い、課題解決の為に真剣に取り組んでいることが伝わる発表でした。また、QC手法・PDCAの展開・多職種連携など、これまで毎年積み上げてきたものが複合されたプレゼン資料となっており、非常にレベルの高い内容になっていたと感じます。

各事業所において、本日の発表のような事例を一つでも多く実施していけるということが、ケアパートナーの強みにつながっていくのだと思います。」

○ 本件に関するお問い合わせ先・・・03-6404-6342（業務管理部 永島）